



ていじせい 定時制の旋風

2025年 6月号

県立小野工業高等学校 定時制課程

発行者 教頭 松本康一

教頭 松本 康一

【同窓会総会】

新緑が目には鮮やかな季節となりました。1年生の皆さんは新しい学校に、2年生の皆さんは新しいクラスに、3、4年生の皆さんは新しい学年にもすっかり慣れ、日々の学習や部活動に意欲的に取り組んでいることと思います。

6月は、年間の中でも特に様々な活動が本格化する月です。中間考査が終わり、学習面ではそれぞれの課題が見つかったことでしょう。できなかった問題の復習、理解が曖昧な箇所の再確認など、一つひとつ丁寧に取り組むことが、これからの学力向上に繋がります。

また、梅雨の時期でもあり、時には気持ちが沈む日もあるかもしれません。しかし、雨が降るからこそ、植物は成長し、大地は潤います。私たちも、困難な状況を乗り越えることで、より強く、たくましくなれるはずです。

これから始まる実りの多い季節に向けて、一日一日を大切に、目標を持って努力を続けていきましょう。皆さんのさらなる飛躍を期待しています。

【校外学習(1学年)】

4月22日(火) 1学年が「人と防災未来センター」へ校外学習に行きました。震災の展示や体験を通して、防災に関する知識を深め、また未曾有の大震災に備え、防災に対する意識を高めました。



5月18日(日) 小野工業高校の第80回定時総会に参加してきました。

以下、皆さんの先輩方とお話させて頂いた内容をまとめましたので、読んで頂けると幸いです。

現役で学ぶ生徒の皆さん、日々の学習や実習、部活動に真剣に取り組む姿は、我々卒業生にとっては何よりの喜びであり、誇りです。私たち同窓会は、この学び舎で青春を過ごし、社会へと巣立っていったOB・OGの集まりです。それぞれの時代に、同じ実習服に身を包み、旋盤を削り、回路を組み、製図に打ち込んできました。卒業後、様々な分野で活躍する中で、共通して感じるのは、小野工業高校で培った知識と技術、そして何よりも『ものづくり』への情熱が、今の自分を支えているということです。現代社会は、AI、ロボット、環境技術など、日々めまぐるしく変化しています。しかし、その根底には常に「ものづくり」があり、確かな技術力を持つ人材が不可欠であることは変わりません。

君たちは、まさにこの「ものづくり」の未来を担う存在です。私たち同窓会は、現役生徒の皆さんが将来の夢を実現できるよう、様々な形で支援を行っています。困った時は、いつでも我々OBを頼ってください。この学び舎で育った先輩として、君たちの無限の可能性を信じ、共に歩むことを約束します。未来を拓く君たちの、力強く、そして輝かしい成長を心から応援しています。

